

**タイトルはBIZ UDPゴシック体, 14P, 太字, 中央揃え**  
**—サブタイトルは, BIZ UDPゴシック体, 12P, 太字, 中央揃え—**

○人間工学 花子(人間工学大学人間工学学部)  
赤坂 太郎((株)人間工学)

**Title is 11 points (Times New Roman)**

**—Sub Title is 11 points (Times New Roman)—**

**Hanako NINGENKOUGAKU (Ningenkougaku University, School of Ergonomics),**  
**Taro AKASAKA (Ningenkougaku Co. Ltd.)**

1. はじめに←12P, 明朝体, 太字

原稿はA4サイズ2ページで, マージン上下25mm, 左右20mmで作成して下さい。

タイトルはBIZ UDPゴシック体14ポイント太字のフォントを用いて下さい。サブタイトルがある場合においても, BIZ UDPゴシック体12ポイント太字のフォントを用い, ハイフンでくくって下さい。タイトルが1行に収まらない場合は, そのまま2行にわたり記入して下さい。邦文氏名にはBIZ UDPゴシック体で12ポイントのフォントを用いて, 発表者の氏名の前に○印をつけて下さい。英文タイトル(サブタイトル)および氏名には, Times New Romanで11ポイント太字のフォントを用いて下さい。いずれも中央揃えをして下さい。

本文は二段組, 左揃え, 段間(左右の段落の間)10mmです。フォントは明朝体11ポイントを用いて下さい。この書式では文字数1段22文字, 行数46行としていますが, 適宜調整して下さい。

なお, 「はじめに」などの見出し語は例ですので, 変えて頂いて結構です。

図, 表, 写真は, 縦・横のマージン内に入るようにし, 印刷時にモノクロのオフセット印刷になることを考慮して下さい。タイトルと説明は, 必要に応じて図の直下にゴシック体11ポイントで, 中央揃えで入れてください。

例:



図1 本研究のモデル

紙の大きさ, 上下左右のマージン, 書体, フォントのサイズを必ず守って下さい。

PDFは, 印刷時の文字化け防止のため, フォントを埋め込んだPDFで作成して下さい。

MS-WordでPDFを作成する場合は, 「名前をつけて保存」を選択し, ファイルの種類「PDF」を選択し, 最適化は「標準」で保存して下さい。

AdobeAcrobatでPDFを作成する場合は, プリントで「AdobePDF」を選択し, プリントのプロパティを表示し, PDF設定で「PDF/X-1a:2001(日本)」を選択し, 「システムのフォントのみ使用し, 文書のフォントを使用しない」のチェックを外して, PDF作成を行ってください。

フォント埋め込みPDFファイルの作成方法, PDFファイルにフォントが埋め込まれているかの確認方法は大会ホームページをご覧ください。

PDFファイルにフォントが埋め込まれていることを確認後, PDFファイルをアップロードして下さい。

PDFの作成方法が不明の場合は, 大会事務局までご相談ください。

2. 方法

原稿の書き方は前述したとおりです。この書式を, このまま書き上げて使っていただいて結構です。ファイルは上位互換ですので, 皆様が普段お使いのバージョンに合わせて保存して下さい。

作成した原稿は, 大会ホームページ(<https://www.ergonomics.jp/conference/2025/>)に記載されている方法に従って提出して下さい。締め切り厳守をお願いします。

3. 結果

<講演集のインターネット公開について>

大会講演集は科学技術振興機構(J-STAGE)にて

大会期間終了後に公開されます。公開データは申込時の登録情報原稿をもとに大会事務局が作成します。

大会講演集に掲載される抄録等の著作権は、一般社団法人日本人間工学会に帰属するものとします。詳細は本学会著作権規程をご確認ください。規程は本学会ホームページから入手できます。また、公開された講演集は技術的な問題により著者の都合により削除できませんので、ご了承ください。

#### 4. 考察

演題登録, 事前参加登録に関するお問い合わせ先  
<日本人間工学会第66回大会事務局>

E-mail: ergo\_info@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文献(日本人間工学誌に用いる文献形式)

- 1) 大須賀美恵子, 青木和夫, 他. 座談会－ネットで語る人間工学の来し方行く先－. 人間工学. 2014, 50(1), p. 1-10.
- 2) Dul, J.; Bruder, R.; et al. A strategy for human factors/ergonomics: Developing the discipline and profession. Ergonomics. 2012, 55(4), p. 377-395.

詳細は学会HPの「執筆要領」の各論文テンプレートをご覧ください。

[https://www.ergonomics.jp/journal/journal\\_post/rules.html](https://www.ergonomics.jp/journal/journal_post/rules.html)